

第3回 大学評価研究所「公開研究会」

高大接続の理想と現段階

1. 目的と概要

「本協会の諸事業に資するよう、国内外の大学評価に関する調査研究を行うとともに、その成果を会員大学の利用に供すること」を目的に、本協会は大学評価研究所を設置しております。そしてその事業の一環として、定期的に公開研究会を開催し、関係者との研究成果の共有や意見交換を図っています。

第3回目となる今回は、「高大接続の理想と現段階」をテーマとして研究会を開催します。「高大接続改革」として、大学入試改革が大きく取り上げられることがしばしばですが、大学入試改革は高大接続改革の一部であり、かつ高大接続改革自体が、わが国の大きな教育改革の一面であることを忘れてはなりません。すなわちそれは、大学入試のみならず高等学校教育、大学教育を一体的に改革しようという狙いのものであり、そして「知識偏重」の反省に立った、初等教育段階からの抜本的改革の一連にあるものです。そこでは、いわゆる「学力の3要素」が重視されるとともに、「何ができるようになるか」という学習の成果やそのプロセスにより重きを置いた教育が目指されます。

このように大きな教育改革の流れの中にある高大接続改革ですが、「大学入学共通テスト」などに関心が集中するなか、あらためて改革の意味を確認しその在り方を考えていくことは重要だといえましょう。そこで、第3回目となる大学評価研究所公開研究会においては、「高大接続の理想と現段階」をテーマとして取り上げます。具体的には、上記のような「高大接続改革」の意味するところを再度確認したうえで、教育学また大学の観点、高等学校の観点、そして質保証機関の観点から、これまでの課題や今後についてそれぞれ関係者に話題提供を受け、それを踏まえて議論を交わしていくことで、高大接続改革を巡る認識を深めていきます。

2. 開催日時・会場・プログラム等

※敬称略

※発表タイトルは仮題

日 時	令和2年3月17日(火) 14:00~17:00 (13:30より受付)
プログラム	14:00 開会 14:05-15:45 研究発表 16:00-17:00 パネルディスカッション
研究発表①	早田 幸政(大学評価研究所一般研究員、中央大学理工学部 教授) 「高大接続の意義と考察の視点」
研究発表②	西岡 加名恵(京都大学教育学研究科 教授) 「高大接続における入試のあり方 ―パフォーマンス評価の可能性―」
研究発表③	吉田 寿美(東京都立豊多摩高等学校校長、全国高等学校進路指導協議会会長) 「高大接続改革と高等学校」
研究発表④	田代 守(大学評価研究所特任研究員、大学基準協会評価研究部長) 「高大接続改革と大学の質保証」
会 場	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール3A (〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル) アクセス方法は下記のURLをご覧ください。 https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-ichigaya/access/